

意見広告

廃止? その前に。 生活者の視点で 「厚生年金基金」を 議論してほしい。

今国会で、社員の老後を支える
「厚生年金基金」の廃止に向けた法案が
審議されています。

全国の厚生年金基金の加入者は現在約*411万人、
受給者は約*280万人。

加入する会社の規模は、

従業員数約*40人未満の中小企業がほとんどです。

もし廃止されると、厚生年金基金からの年金が

生活費の一部となっている受給者だけでなく、

加入者にとっても、上乗せ年金がもらえなくなってしまうです。

厚生年金基金は、もともと国が定めた仕組みで、

国の指導のもとに設立・運営されてきました。

にもかかわらず、基金の財政懸念を理由に、

廃止した後の受け皿についてはまったく議論がされないまま

審議されているのが実情です。

早期解散を要望している厚生年金基金がある一方、

多くの厚生年金基金は存続を希望しています。

みなさんも自分の生活に関することが、

自分たちの知らない間に、

自分たちの意見も聞かれないまま

決まってしまうとしたら、どう思われるでしょうか。

いま一度、国民の生の意見に耳を傾け、

よりよい制度にするために

真剣に議論をする必要があるのではないのでしょうか。

国会でも、生活者の視点で審議されることを

私たちは強く要望します。

全国総合厚生年金基金協議会

03-3834-3190

<http://www.zensouki.jp/>



この印刷物は、
環境に配慮した
再生紙で電子印刷
されています。

